

# 三島中洲研究 Vol.3

## 目次

### 例会発表

三島中洲と那智佐傳—二松茶話會を中心として—	菊地 誠一	3
「二松學舎明治十年設立」の歴史的意義	神立 春樹	4
西川季格『集義和書蹟非』について	松川 健二	21
並木栗水の三島中洲批判—中洲「義利合一論」をめぐる—	岡野 康幸	24
山田知足齋の人物と詩風—『知足齋詩鈔』を中心として—	菊地 誠一	29
嘉仁皇太子の輔導体制をめぐる	松尾 政司	31
東敬治書簡（山田準宛て）について	町 泉寿郎	42
戦中・戦後の二松学舎—那智佐典日記を中心に—	浅井 昭治・川邊 雄大	47
日本権力論序説—頼山陽の「権」論より—	濱野 靖一郎	54

### 資料

二松茶話會の記録『困學漫筆』について	菊地 誠一	56
三島中洲詩補遺（稿）	日野 俊彦	64
「那智佐典日記」（自昭和20年3月16日 至昭和22年12月28日）	三島中洲研究会有志	67
翻刻・専門学校第6期生 高木忠男「我が半生」—二松文学会のこと—	町 泉寿郎・岡藤 香織	147
「三島家系譜」覚書	三島 正明	170
研究会開催記録		193